

別記様式（第7条関係）

議会報告会実施報告書

開催日時	平成28年7月27日（水） 19時00分～20時30分		
開催場所	駄知公民館		
出席議員	代表者 楓 博元	司会者 和田 悦子	
	報告者 水野 哲男	記録者 水野 哲男	
参加人数	30人		
報告内容	新庁舎建設について 報告者：楓 博元 総合病院について 報告者：水石 玲子		
主な意見・ 提言等	新庁舎建設について ・人口を見据えた建物とあるが、現在何人で、将来何人になる見込みなのか。 ・市役所は部署が多くあるが、これだけ多くの部署が必要なのか。仕事がそれだけあるのか。 ・3階で横長の建物であるが、4～5階建てにして土地を有効に使ったらどうか。 ・免震構造のほうが安心だと思う。 ・庁舎建設の補助金はあるのか。 ・この3階の案は賛成であるが、動線が長くなるので総合窓口や出入り口を多く作ってほしい。 ・議会傍聴の際、小さな子供連れにも対応した施設にしてほしい。 ・防災についての補助金をとってくるよう考えてほしい。 ・基金の15億円は何年かかって積立てたのか。 ・起債は借金であり、返済については財政的に心配はないのか。 ・飲食コーナー、カフェコーナー、多目的スペースはどうしても必要か。デパートのようであり、あまり欲張らない計画にしたらどうか。		

	<p>総合病院について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 27年度に多少良くなったとの説明であるが、改善した理由は何か。 ・ 累積赤字の金額は。 ・ 繰出金の根拠は何か。繰出金が少なくなれば、赤字が多くなると思うがどうか。 ・ 繰出金は住民からの血税であり、毎年多額の繰出金を出していくのはいかなものか。 ・ 周辺の瑞浪市、多治見市にも総合病院があり、今後土岐市に必要なかどうか議論を行ってほしい。 ・ 良い医師が来れば患者数は増えると思う。 ・ 病院改革特別委員会と病院改革プランとは関係があるのか。 ・ 病院改革特別委員会としての結論は決めているのか。結論を早く出して、手を打たなければいけない。 ・ 土岐市の総合病院が無くなってしまえば、市民の生命を守っていけなくなる。 ・ 赤字でも、土岐市をどういう市にしたいのか等の議論が必要ではないか。 ・ 地域の病院として残すべきである。 ・ 国の補助金が少なすぎる。議会としても声を上げて行ってほしい。 ・ 病院は企業会計であり、事業収入を得てその金で運営をしていくのが本来の経営である。 ・ 土岐市民がどれくらい総合病院を利用しているのか。 ・ 病院だけの話では分からないので、市全体の借金がいくらあり、いくら返済されているのか分かるように説明してほしい。
--	---

土岐市議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成28年7月28日

土岐市議会議長 西尾 隆久 様

第1班 代表者 楓 博元